



保二小だより

[10月号]

家庭数配布

令和7年9月30日発行
西東京市立保谷第二小学校

校外学習で深まる児童の学び

副校長 黒須 正吾

正門脇の花壇に彼岸花が咲いた頃から、秋らしく過ごしやすいい日が増えてきました。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋……。秋は何をするにせよ、ちょうどよい気候です。

秋も本番を迎える10月より、本校では各学年で校外学習を予定しています。教室を離れ、実際の社会や自然に触れることで、児童の学びはより深く、豊かなものになるはずです。校外学習は、知識を体験に変え、心に残る学びを育む絶好の機会です。

1・2年生は、1学期に植えたさつまいもの観察に矢ヶ崎農園に出かけます。また2年生は、所沢航空公園へ遠足に出かけます。広々とした公園でのびのびと体を動かしながら、友達と一緒に過ごす時間の中で、協力することや公共の場でのマナーも学びます。

3年生は、江戸東京たてもの園とシチズンミュージアムへ社会科見学に出かけます。江戸東京たてもの園では、昔の建物や道具に触れることで、社会科「くらしのうつりかわり」で学んだことを実感的に学びます。シチズンミュージアムでは、時計の仕組みや歴史を学ぶことで、技術の進歩や人々の工夫に気付く機会となります。

4年生は、日和田山への遠足に挑戦します。自然の中での登山は、体力だけでなく、忍耐力や仲間との助け合いの心を育てます。山の植物や地形を観察することで、理科の学びともつながり、自然への関心が高まることでしょう。

5年生は、昭和記念公園へ「自立遠足」に出かけます。グループごとに計画を立て、自分たちで行動する時間を設定し、協力することの大切さ、責任感、判断力を培います。自分たちで考え、選び、行動する経験は、これからの学びに大きな力となるはずです。

そして6年生は、赤城高原へ2泊3日の移動教室に出かけます。親元を離れ、自然の中での共同生活を通して、仲間との絆を深め、自分の役割を果たすことの大切さを学びます。川場フィッシングプラザでの魚釣りや飯盒炊爨など、屋外の非日常活動で得られる感動は、心の成長につながります。きっと、生涯の宝の思い出ともなるでしょう。

これらの校外学習は、単なる「お出かけ」ではなく、児童の「主体的・対話的で深い学び」を支える大切な教育活動です。体験を通して得た気付きは、教室での学びをより意味あるものにし、子どもたちの世界を広げてくれます。

ご家庭でも、是非お子さんが帰宅したときに「今日はどんなことを見てきたの?」「どんなことが心に残った?」などと声をかけてください。子どもたちが感じた驚きや発見に耳を傾けて頂くことで、子どもたちの学びが豊かなものとなり、心の成長にもつながります。

保護者の皆様には、準備や安全面でもご協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。